

別表 (2) (削除)

別表 (3) 教職に関する専門科目

授 業 科 目	履 修 単 位	備 考
教職入門	2	教職に関する専門科目の履修については、所属学部において免許状ごとに認定を受けた教職課程の定めに従うこと。
教育原理	2	
教育心理学	2	
Educational Psychology	2	
教育の制度・経営	2	
教育マネジメントⅠ	2	
教育マネジメントⅡ	2	
発達・教育の理論Ⅰ〔HSC〕	2	
発達・教育の理論Ⅱ〔HSC〕	2	
教育課程論	2	
国語科教育法Ⅰ	4	
国語科教育法Ⅱ	4	
社会・地歴科教育法	4	
社会・公民科教育法	4	
数学科教育法(1)	2	
数学科教育法(2)	2	
数学科教育法(3)	2	
数学科教育法(4)	2	
理科教育法Ⅰ	4	
理科教育法Ⅱ	4	
理科教育法(1)	2	
理科教育法(2)	2	
理科教育法(3)	2	
理科教育法(4)	2	
情報科教育法	4	
情報科教育法Ⅰ	2	
情報科教育法Ⅱ	2	
商業科教育法	4	
福祉科教育法	4	
英語科教育法Ⅰ	4	
英語科教育法Ⅱ	4	
英語科教育法Ⅰ(GIS)	2	
英語科教育法Ⅱ(GIS)	2	
英語科教育法Ⅲ(GIS)	2	
英語科教育法Ⅳ(GIS)	2	
中国語科教育法Ⅰ	4	
中国語科教育法Ⅱ	4	
保健体育科教育法Ⅰ	2	
保健体育科教育法Ⅱ	2	
保健体育科教育法Ⅲ	2	
保健体育科教育法Ⅳ	2	
道徳教育指導論	2	
特別活動論	2	
教育方法論	2	
生徒・進路指導論	2	
教育相談	2	
臨床教育相談論Ⅰ	2	
臨床教育相談論Ⅱ	2	
教育実習(高)	3	
教育実習(中・高)	5	
教職実践演習(中・高)	2	

別表 (4)
司書教諭に関する専門科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択	自由	
学校経営と学校図書館	2			基礎資格：教育職員免許法に定める教諭の免許状を有すること。
学習指導と学校図書館	2			
学校図書館メディアの構成	2			
読書と豊かな人間性	2			
情報メディアの活用	2			

別表 (5)
司書に関する専門科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択	自由	
生涯学習入門Ⅰ	2			市ヶ谷地区のみ (キャリアデザイン学部除く) キャリアデザイン学部のみ
発達・教育キャリア入門C (生涯学習入門Ⅰ)	2			
生涯学習入門Ⅱ	2			市ヶ谷地区のみ (キャリアデザイン学部除く) キャリアデザイン学部のみ
発達・教育キャリア入門D (生涯学習入門Ⅱ)	2			
社会教育概論Ⅰ	2			経済、スポーツ健康学部のみ 経済、スポーツ健康学部のみ
社会教育概論Ⅱ	2			
社会教育概論Ⅰ〔HSC〕	2			社会学部のみ 社会学部のみ
社会教育概論Ⅱ〔HSC〕	2			
生涯学習論Ⅰ	2			現代福祉学部のみ 現代福祉学部のみ
生涯学習論Ⅱ	2			
図書館情報学概論Ⅰ	2			
図書館制度・経営論	2			
図書館情報学概論Ⅱ	2			
図書館サービス概論	2			
情報サービス論	2			
児童サービス論	2			
情報サービス演習	4			
図書館情報資源概論	2			
情報資源組織論	2			
情報資源組織演習	4			
図書館演習	4			
図書館情報資源特論	2			

別表 (6)

学芸員に関する専門科目

授業科目	履修単位			備考
	必修	選択	自由	
生涯学習入門Ⅰ	2			市ヶ谷地区のみ (キャリアデザイン学部除く)
発達・教育キャリア入門C (生涯学習入門Ⅰ)	2			キャリアデザイン学部のみ
生涯学習入門Ⅱ	2			市ヶ谷地区のみ (キャリアデザイン学部除く)
発達・教育キャリア入門D (生涯学習入門Ⅱ)	2			キャリアデザイン学部のみ
社会教育概論Ⅰ	2			経済、スポーツ健康学部のみ
社会教育概論Ⅱ	2			経済、スポーツ健康学部のみ
社会教育概論Ⅰ〔HSC〕	2			社会学部のみ
社会教育概論Ⅱ〔HSC〕	2			社会学部のみ
生涯学習論Ⅰ	2			現代福祉学部のみ
生涯学習論Ⅱ	2			現代福祉学部のみ
博物館概論	2			キャリアデザイン学部除く
ミュージアム概論	2			キャリアデザイン学部のみ
博物館経営論	2			キャリアデザイン学部除く
ミュージアム経営論	2			キャリアデザイン学部のみ
博物館資料論	2			キャリアデザイン学部除く
ミュージアム資料論	2			キャリアデザイン学部のみ
博物館資料保存論	2			キャリアデザイン学部除く
ミュージアム資料保存論	2			キャリアデザイン学部のみ
博物館展示論	2			キャリアデザイン学部除く
ミュージアム展示論	2			キャリアデザイン学部のみ
博物館教育論	2			キャリアデザイン学部除く
ミュージアム教育論	2			キャリアデザイン学部のみ
博物館情報・メディア論	2			市ヶ谷地区のみ (キャリアデザイン学部除く)
ミュージアム情報・メディア論	2			キャリアデザイン学部のみ
視聴覚教育Ⅰ	2			多摩地区のみ
博物館実習Ⅰ	2			
博物館実習Ⅱ	2			
博物館実習Ⅲ	2			
文化史Ⅰ		2		
文化史Ⅱ		2		
比較文化論Ⅰ		2		多摩地区のみ (社会学部除く)
比較文化論Ⅱ		2		多摩地区のみ (社会学部除く)
比較文化論Ⅰ〔MCC〕		2		社会学部のみ
比較文化論Ⅱ〔MCC〕		2		社会学部のみ
美術史 (日本) A		2		
美術史 (日本) B		2		
美術史 (西洋) A		2		
美術史 (西洋) B		2		
日本考古学		2		
考古学概論		2		
民俗学Ⅰ		2		
民俗学Ⅱ		2		

4 単位以上

別表(7)
社会教育主事に関する専門科目

	授業科目	履修単位			備考
		必修	選択	自由	
市 ヶ 谷 地 区	生涯学習入門Ⅰ	2			キャリアデザイン学部以外 キャリアデザイン学部のみ
	発達・教育キャリア入門C（生涯学習入門Ⅰ）	2			
	生涯学習入門Ⅱ	2			キャリアデザイン学部以外 キャリアデザイン学部のみ
	発達・教育キャリア入門D（生涯学習入門Ⅱ）	2			
	社会教育計画	4			
	社会教育演習	4			
	現代社会と社会教育Ⅰ	2			キャリアデザイン学部以外 キャリアデザイン学部のみ
	生涯学習論Ⅰ（現代社会と社会教育Ⅰ）	2			
	現代社会と社会教育Ⅱ	2			キャリアデザイン学部以外 キャリアデザイン学部のみ
	生涯学習論Ⅱ（現代社会と社会教育Ⅱ）	2			
	図書館情報学概論Ⅰ		2		キャリアデザイン学部以外 キャリアデザイン学部のみ
	図書館情報学概論Ⅱ		2		
	博物館概論		2		キャリアデザイン学部以外 キャリアデザイン学部のみ
	ミュージアム概論		2		
	博物館資料論		2		キャリアデザイン学部以外 キャリアデザイン学部のみ
	ミュージアム資料論		2		
	社会教育活動Ⅰ		2		4単位以上
	社会教育活動Ⅱ		2		
	教育社会学Ⅰ		2		※ デザイン工学部建築学科及び 都市環境デザイン工学科以外
	教育社会学Ⅱ		2		
	博物館情報・メディア論		2		※ デザイン工学部建築学科及び 都市環境デザイン工学科以外
	ミュージアム情報・メディア論		2		
	教育原理	※	2		4単位以上
教育の制度・経営	※	2			
職業指導（仕事の場と学び）		4		4単位以上	
現代生活・文化と社会教育Ⅰ		2			
現代生活・文化と社会教育Ⅱ		2			
多 摩 地 区	社会教育概論Ⅰ	2			経済、スポーツ健康学部のみ 経済、スポーツ健康学部のみ
	社会教育概論Ⅱ	2			
	社会教育概論Ⅰ〔HSC〕	2			社会学部のみ 社会学部のみ
	社会教育概論Ⅱ〔HSC〕	2			
	生涯学習論Ⅰ	2			現代福祉学部のみ 現代福祉学部のみ
	生涯学習論Ⅱ	2			
	社会教育計画	4			
	社会教育演習	4			
	現代社会と社会教育	4			
	図書館情報学概論Ⅰ		2		4単位以上
	図書館情報学概論Ⅱ		2		
	博物館概論		2		社会学部のみ 社会学部のみ 社会学部のみ
	博物館資料論		2		
	社会教育活動		4		4単位以上
	教育社会学		4		
	視聴覚教育Ⅰ		2		4単位以上
	視聴覚教育Ⅱ		2		
	地域社会学		2		社会学部のみ 社会学部のみ 社会学部のみ
	地域社会学〔EPC〕		2		
	地域社会学〔CDC〕		2		社会学部のみ 社会学部のみ
	地域社会学〔HSC〕		2		
	教育原理		2		4単位以上
	教育の制度・経営		2		
マス・コミュニケーション論		2		社会学部のみ 社会学部のみ	
マス・コミュニケーション論〔MSC〕		2			
マス・コミュニケーション論〔BT〕		2		4単位以上	
現代生活・文化と社会教育		4			
福祉社会学Ⅰ		2		社会学部のみ 社会学部のみ 社会学部のみ 社会学部のみ	
福祉社会学Ⅱ		2			
福祉社会学Ⅰ〔CDC〕		2		社会学部のみ 社会学部のみ	
福祉社会学Ⅱ〔CDC〕		2			
福祉社会学Ⅰ〔GSP〕		2		社会学部のみ 社会学部のみ	
福祉社会学Ⅱ〔GSP〕		2			

別表（8） 学部・学科別教育職員免許状の種類及び教科

学部	学科	免許状の種類及び教科	
		中学校教諭 一種免許状	高等学校教諭 一種免許状
法学部	法律学科	社会	地理歴史, 公民
	政治学科		
	国際政治学科		
文学部	哲学科		
	日本文学科	国語	国語
	英文学科	英語	英語
	史学科	社会	地理歴史, 公民
	地理学科	社会, 理科	地理歴史, 公民, 理科
	心理学科		公民
経済学部	経済学科	社会	地理歴史, 公民, 情報
	国際経済学科		地理歴史, 公民
	現代ビジネス学科		地理歴史, 公民
社会学部	社会政策科学科	社会	地理歴史, 公民
	社会学科		地理歴史, 公民, 情報
	メディア社会学科		公民, 商業, 情報
経営学部	経営学科	社会	地理歴史, 公民, 情報, 商業
	経営戦略学科		公民, 情報, 商業
	市場経営学科		
国際文化学部	国際文化学科	英語, 中国語	英語, 中国語, 情報
人間環境学部	人間環境学科	社会	地理歴史, 公民
現代福祉学部	福祉コミュニティ学科	社会	福祉
	臨床心理学科		公民
情報科学部	コンピュータ科学科		情報
	デジタルメディア学科		
キャリアデザイン学部	キャリアデザイン学科	社会	地理歴史, 公民, 商業
デザイン工学部	システムデザイン学科		情報
理工学部	機械工学科	数学	数学
	電気電子工学科		数学, 情報
	応用情報工学科		数学
	経営システム工学科		
	創生科学科	数学, 理科	数学, 理科
生命科学部	生命機能学科	理科	
	環境応用化学科		理科
	応用植物科学科		
グローバル教養学部	グローバル教養学科	英語	英語
スポーツ健康学部	スポーツ健康学科	保健体育	保健体育

別表(9) 学費

授業料, 入学金, 実験実習料, 教育充実費, 休学在籍料, 再入学金, 諸会費及び検定料等

学部	学科 (専修等)	学年	授業料	入学金	実験 実習料	教育 充実費	諸会費(第1期に1年分納付)						合計	
							学費		志林代 入会金	栄養 教育費	後援会費 入会金	校友会費		諸会費 合計
							学部	学科						
法	法律	1	788,000	240,000		228,000	600		2,000	7,000	6,000	15,600	1,271,600	
		2	788,000			228,000	600		2,000	7,000		9,600	1,025,600	
		3	788,000			228,000	600		2,000	7,000		9,600	1,025,600	
		4	788,000			228,000	600		2,000	7,000	30,000	39,600	1,055,600	
	政治 国際政治	1	788,000	240,000		228,000			2,000	7,000	6,000	15,000	1,271,000	
		2	788,000			228,000			2,000	7,000		9,000	1,025,000	
		3	788,000			228,000			2,000	7,000		9,000	1,025,000	
		4	788,000			228,000			2,000	7,000	30,000	39,000	1,055,000	
文	哲	1	788,000	240,000		228,000				7,000	6,000	13,000	1,269,000	
		2	788,000			228,000				7,000		7,000	1,023,000	
		3	788,000			228,000				7,000		7,000	1,023,000	
		4	788,000			228,000				7,000	30,000	37,000	1,053,000	
	日本文	1	788,000	240,000		228,000	2,000	1,000		7,000	6,000	16,000	1,272,000	
		2	788,000			228,000	2,000	800		7,000		9,800	1,025,800	
		3	788,000			228,000	2,000	800		7,000		9,800	1,025,800	
		4	788,000			228,000	2,000	800		7,000	30,000	39,800	1,055,800	
	英文	1	788,000	240,000		228,000		2,000		7,000	6,000	15,000	1,271,000	
		2	788,000			228,000		2,000		7,000		9,000	1,025,000	
		3	788,000			228,000		2,000		7,000		9,000	1,025,000	
		4	788,000			228,000		2,000		7,000	30,000	39,000	1,055,000	
	史	1	788,000	240,000		228,000	2,000			7,000	6,000	15,000	1,271,000	
		2	788,000			228,000	2,000			7,000		9,000	1,025,000	
		3	788,000			228,000	2,000			7,000		9,000	1,025,000	
		4	788,000			228,000	2,000			7,000	30,000	39,000	1,055,000	
	地理	1	788,000	240,000	22,000	228,000	1,500			7,000	6,000	14,500	1,292,500	
		2	788,000		22,000	228,000	1,500			7,000		8,500	1,046,500	
		3	788,000		22,000	228,000	1,500			7,000		8,500	1,046,500	
		4	788,000		22,000	228,000	1,500			7,000	30,000	38,500	1,076,500	
	心理	1	788,000	240,000	42,000	228,000	2,000			7,000	6,000	15,000	1,313,000	
		2	788,000		42,000	228,000	2,000			7,000		9,000	1,067,000	
		3	788,000		42,000	228,000	2,000			7,000		9,000	1,067,000	
		4	788,000		42,000	228,000	2,000			7,000	30,000	39,000	1,097,000	
経済	経済 国際経済 現代ビジネス	1	788,000	240,000		228,000	2,000			7,000	6,000	15,000	1,271,000	
		2	788,000			228,000	2,000			7,000		9,000	1,025,000	
		3	788,000			228,000	2,000			7,000		9,000	1,025,000	
		4	788,000			228,000	2,000			7,000	30,000	39,000	1,055,000	
社会	社会政策科 社会 メディア社会	1	788,000	240,000		228,000	2,000			7,000	6,000	15,000	1,271,000	
		2	788,000			228,000	2,000			7,000		9,000	1,025,000	
		3	788,000			228,000	2,000			7,000		9,000	1,025,000	
		4	788,000			228,000	2,000			7,000	30,000	39,000	1,055,000	
経営	経営 経営戦略 市場経営	1	788,000	240,000		228,000		3,000		7,000	6,000	16,000	1,272,000	
		2	788,000			228,000	600	3,000		7,000		10,600	1,026,600	
		3	788,000			228,000	600	3,000		7,000		10,600	1,026,600	
		4	788,000			228,000	600	3,000		7,000	30,000	40,600	1,056,600	
	経営 (GBP)	1	968,000	240,000		228,000		3,000		7,000	6,000	16,000	1,452,000	
		2	968,000			228,000	600	3,000		7,000		10,600	1,206,600	
		3	968,000			228,000	600	3,000		7,000		10,600	1,206,600	
		4	968,000			228,000	600	3,000		7,000	30,000	40,600	1,236,600	
国際文化	国際文化※①	1	1,008,000	240,000	38,000	264,000	3,000			7,000	6,000	16,000	1,566,000	
		2	504,000		22,000	136,000	3,000			7,000		10,000	672,000	
		3	1,008,000		38,000	264,000	3,000			7,000		10,000	1,320,000	
		4	1,008,000		38,000	264,000	3,000			7,000	30,000	40,000	1,350,000	
人間環境	人間環境	1	788,000	240,000		228,000	3,000			7,000	6,000	16,000	1,272,000	
		2	788,000			228,000	3,000			7,000		10,000	1,026,000	
		3	788,000			228,000	3,000			7,000		10,000	1,026,000	
		4	788,000			228,000	3,000			7,000	30,000	40,000	1,056,000	
	人間環境 (SCOPE)	1	968,000	240,000		228,000	3,000			7,000	6,000	16,000	1,452,000	
		2	968,000			228,000	3,000			7,000		10,000	1,206,000	
		3	968,000			228,000	3,000			7,000		10,000	1,206,000	
		4	968,000			228,000	3,000			7,000	30,000	40,000	1,236,000	
現代福祉	福祉コミュニティ	1	788,000	240,000		228,000		3,000		7,000	6,000	16,000	1,272,000	
		2	788,000			228,000		3,000		7,000		10,000	1,026,000	
		3	788,000			228,000		3,000		7,000		10,000	1,026,000	
		4	788,000			228,000		3,000		7,000	30,000	40,000	1,056,000	
	臨床心理	1	788,000	240,000	42,000	228,000		3,000		7,000	6,000	16,000	1,314,000	
		2	788,000		42,000	228,000		3,000		7,000		10,000	1,068,000	
		3	788,000		42,000	228,000		3,000		7,000		10,000	1,068,000	
		4	788,000		42,000	228,000		3,000		7,000	30,000	40,000	1,098,000	
キャリア デザイン	キャリアデザイン	1	788,000	240,000	21,000	228,000	2,000		1,600	7,000	6,000	16,600	1,293,600	
		2	788,000		21,000	228,000	2,000		1,600	7,000		10,600	1,047,600	
		3	788,000		21,000	228,000	2,000		1,600	7,000		10,600	1,047,600	
		4	788,000		21,000	228,000	2,000		1,600	7,000	30,000	40,600	1,077,600	
グローバル 教養	グローバル教養	1	1,040,000	240,000		232,000				7,000	6,000	13,000	1,525,000	
		2	1,040,000			232,000				7,000		7,000	1,279,000	
		3	1,040,000			232,000				7,000		7,000	1,279,000	
		4	1,040,000			232,000				7,000	30,000	37,000	1,309,000	
スポーツ 健康	スポーツ健康	1	843,000	240,000	100,000	278,000	3,000			37,500	7,000	6,000	53,500	1,514,500
		2	843,000		100,000	278,000	3,000			37,500	7,000		47,500	1,268,500
		3	843,000		100,000	278,000	3,000			37,500	7,000		47,500	1,268,500
		4	843,000		100,000	278,000	3,000			37,500	7,000	30,000	77,500	1,298,500

学部	学科 (専修等)	学 年	授業料	入学金	実験 実習料	教育 充実費	諸会費(第1期に1年分納付)						合 計
							学部	学科	入会金	志林代	栄養 教育費	後援会費 入会金	
情報科	コンピュータ科 デザインメディア	1	1,111,000	240,000	87,000	312,000				7,000	6,000	13,000	1,763,000
		2	1,111,000		87,000	312,000				7,000		7,000	1,517,000
		3	1,111,000		87,000	312,000				7,000		7,000	1,517,000
		4	1,111,000		87,000	312,000				7,000	30,000	37,000	1,547,000
デザイン工	建築 都市環境デザイン工 システムデザイン	1	1,111,000	240,000	87,000	312,000				7,000	6,000	13,000	1,763,000
		2	1,111,000		87,000	312,000				7,000		7,000	1,517,000
		3	1,111,000		87,000	312,000				7,000		7,000	1,517,000
		4	1,111,000		87,000	312,000				7,000	30,000	37,000	1,547,000
理工	機械工(機械工学) 電気電子工 応用情報工 経営システム工 創生科	1	1,111,000	240,000	87,000	312,000				7,000	6,000	13,000	1,763,000
		2	1,111,000		87,000	312,000				7,000		7,000	1,517,000
		3	1,111,000		87,000	312,000				7,000		7,000	1,517,000
		4	1,111,000		87,000	312,000				7,000	30,000	37,000	1,547,000
	機械工 (航空操縦学)※②	1	1,111,000	240,000	486,000	312,000				7,000	6,000	13,000	2,162,000
		2	1,111,000		486,000	312,000				7,000		7,000	1,916,000
		3	1,111,000		487,000	312,000				7,000		7,000	6,308,000
		4	1,111,000		87,000	312,000				7,000	30,000	37,000	1,547,000
生命科	生命機能 環境応用化	1	1,111,000	240,000	87,000	312,000				7,000	6,000	13,000	1,763,000
		2	1,111,000		87,000	312,000				7,000		7,000	1,517,000
		3	1,111,000		87,000	312,000				7,000		7,000	1,517,000
		4	1,111,000		87,000	312,000				7,000	30,000	37,000	1,547,000
	応用植物科	1	1,111,000	240,000	147,000	312,000				7,000	6,000	13,000	1,823,000
		2	1,111,000		147,000	312,000				7,000		7,000	1,577,000
		3	1,111,000		147,000	312,000				7,000		7,000	1,577,000
		4	1,111,000		147,000	312,000				7,000	30,000	37,000	1,607,000

※①:国際文化学部国際文化学科の2年次においては第1期に全額を納入する。なお、留級者等の取り扱いについては別に定める。

※②:理工学部機械工学科航空操縦学専修において、3年次に留級となった学生の実験実習料は機械工学専修の実験実習料(87,000円)を適用する。

【入学検定料等】

- 1.入学検定料は、35,000円とする。但し、2段階選抜を行う入試方式に関する検定料については別に定める。
また転籍・転部・転科に関する検定料は、34,000円とする。
- 2.大学入試センター試験利用入試の検定料は、18,000円とする。
- 3.T日程入学試験及び英語外部試験利用入試(一般入試)において併願する場合は、2件目以降の検定料を1件につき15,000円とする。
- 4.書類選考のみによる入試の検定料は、20,000円とする。

【休学在籍料】

- 1.休学在籍料は、100,000円とする。なお、半期休学については半額とする。

【再入学金】

- 1.復学及び復籍時の再入学金は、100,000円とする。

【科目等履修生の登録料及び履修料(日本語教育プログラム以外)】

- 1.登録料は、10,000円とする。
- 2.履修料(1科目)については次のとおりとする。但し、半期完了科目の履修料については半額とする。
(1)法学部、文学部、経済学部、社会学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、現代福祉学部、キャリアデザイン学部、グローバル教養学部及びスポーツ健康学部においては、1年次から4年次の授業料の合計の40分の1の金額とする。
(2)情報科学部、デザイン工学部、理工学部及び生命科学部においては、1年次から4年次の授業料と実験実習料の合計の40分の1の金額とする。
- 3.2017年度の履修料(1科目につき)については以下のとおりとする。

法学部、文学部、経済学部、社会学部、経営学部、人間環境学部、現代福祉学部、キャリアデザイン学部、 基礎科目、総合科目	78,800円
国際文化学部	88,200円
グローバル教養学部	104,000円
スポーツ健康学部	84,300円
情報科学部、デザイン工学部、理工学部(機械工学科航空操縦学専修を除く)、生命科学部(応用植物科学科を除く)	119,800円
理工学部機械工学科航空操縦学専修	259,530円
生命科学部応用植物科学科	125,800円

- 4.教育実習の履修料については以下のとおりとする。

法学部、文学部、経済学部、社会学部、経営学部、国際文化学部、人間環境学部、現代福祉学部、 キャリアデザイン学部、グローバル教養学部、スポーツ健康学部	事前指導	26,260円
	教育実習	52,540円
情報科学部、デザイン工学部、理工学部、生命科学部	事前指導	39,930円
	教育実習	79,870円

- 5.科目等履修生における教職課程費は、新規の場合30,000円、継続の場合15,000円とする。教職課程費に関する事項は別に定める。

なお、介護等体験費は13,000円とし、博物館実習料は14,000円とする。

【科目等履修生の選考料、登録料及び履修料(日本語教育プログラム)】

- 1.選考料は25,000円とし、登録料は50,000円とする。
- 2.日本語教育プログラムの履修料は、400,000円とする。

【教職資格関係費等】

- 1.教職課程費は30,000円とする。
- 2.介護等体験費は13,000円とする。
- 3.博物館実習料は14,000円とする。
- 4.理科実験料は、1科目につき5,000円とする。
- 5.資格科目受講料は、2単位につき2,500円とする。
但し、博物館実習Ⅰ・Ⅱについては、2単位につき5,000円とする。

【飛行訓練実習費】

- 1.法政大学飛行訓練センターが実施する飛行訓練実習に関する訓練費等については別に定める。

【諸会費等】

- 1.諸会費については、毎年度の見直しにより変更される場合がある。
- 2.諸会費のうち校友会費については、4年次に進級した最初の年度の第1期分授業料と同時に納入する。

別表（10）認定単位の上限

	A 第21条の2 大学以外の 教育施設等 における学 修	B 第21条の3 入学前既修 得単位の認 定	C 第21条の4 他の大学等 における履 修	D 第21条の5 多様なメ ディアを高 度に利用し た学修	E 第35条第3項 外国の大学 における学 修	A+B+C+D+E の上限
法学部	30	30	30	30	30	30
文学部（英文学科除く）	30	30	30	30	30	30
文学部英文学科	30	30	30	30	52 注②	52 注②
経済学部	46 注①	8	46 注①	46 注①	46 注①	46 注①
社会学部	46 注①	30	46 注①	46 注①	46 注①	46 注①
経営学部	46 注①	8	46 注①	46 注①	46 注①	46 注①
国際文化学部	60	60	30	60	60	60
人間環境学部	60	60	30	60	60	60
現代福祉学部	60	60		60	60	60
情報科学部	60	60	60	60	60	60
キャリアデザイン学部	60	60		60	60	60
デザイン工学部	60	60	60	60	60	60
理工学部	60	60	60	60	60	60
生命科学部	60	60	60	60	60	60
グローバル教養学部	30	30	30	30	60	60
スポーツ健康学部	60	60	60	60	60	60

注① 16単位はスタディ・アブロード・プログラムによる修得に限る。

注② 22単位は文学部英文学科秋学期スタディ・アブロード・プログラムによる修得に限る。

別表(11)人材の育成に関する目的及びその他の教育研究上の目的

学 部	目 的
法学部	<p>法学部では、日本最古の私立法律学校としての本学の伝統をふまえ、建学の精神たる「自由と進歩」の実現に向けて、リーガル・マインドや政治的分析・交渉能力のある人材を育成し、広く社会に貢献するため、法学・政治学の各分野で充実した教育内容を提供することを目的とする。</p> <p>[法律学科] 法律学科では、法曹、法律研究者、公務員および教員、民間企業などさまざまな分野で活躍できる学生の輩出を目指す。そのため、基礎法学・実定法学の各分野での理論的・実践的な法学教育を通じて、法学知識によって市民社会に貢献できる、リーガル・マインドをもつ学生の教育に努めることとする。</p> <p>[政治学科] 政治学の対象が、中央政府や自治体政府のあり方から、戦争と平和、貿易摩擦、民族紛争など複数の国にまたがる問題、都市、高齢化社会、少子化、まちづくり、など身近な問題まで、あらゆる領域に涉っていることに鑑み、政治学科の学生に、知を愛し、歴史に学び、地域を大切に、世界的視野を持つことを求めていくこととする。</p> <p>[国際政治学科] 「夢は果てしなく足は大地に」と「活躍の舞台はグローバル」をモットーに、21世紀のグローバル時代における地球規模問題群に対して、観察力・分析力のみならず、構想力・交渉力・実行力に加えて、英語力を磨くことにより、地球共生社会の実現をめざして積極的に行動する地球市民意識を育むとともに、独創性・主体性・自立性を発揮できる人材の育成を目的とする。</p>
文学部	<p>文学部としては以下のような学生の育成を目指す。</p> <p>「人間とは何か」を、根本的な視点にたつて問うことで、自己理解を深めるとともに、新たな自己の可能性を発見することのできる学生</p> <p>公平で普遍的な視点から客観的に世界の文化・歴史を理解する一方で、個別具体的な地域・時代の独自性にも配慮し、柔軟な感受性と独創的な思考力を持って日本の文化を国際的に発信することのできる学生</p>
経済学部	<p>経済学部では、「現代社会の経済現象や経済問題を体系的にとらえ、社会に対し有益な政策提言ができる人材の育成」を一貫した教育目標としている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済学科：現実の経済の動きを幅広い観点からの確に把握し、論理的な思考方法によって問題解決への道を模索できる人材の育成。 2. 国際経済学科：地球市民としての自覚を持ち、国際経済の担い手として多国籍企業や国際機関で活躍できる人材の育成。 3. 現代ビジネス学科：マクロ経済の構造変化を踏まえ企業経営に意欲を持つ人材、ないし、企業分析などの専門知識を修得し企業経営にアドバイスができる人材の育成。
社会学部	<p>社会学部は「理念・目的」の項で述べた内容を全学科共通の教育目標とし、これに基づき、各学科に次のような具体的な目標を設定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会政策科学科：経済学、社会学、法学、政治学などによる学際的・複眼的な考察能力と、現代社会の諸課題の解決をはかることのできる能力をもった人材の育成。 2. 社会学科：社会現象を、社会学の知識と人文科学的素養をもとに総合的に認識し、分析・把握することで社会問題の解決をはかる能力を持った人材の育成。 3. メディア社会学科：メディアとコミュニケーションのあり方について、歴史的な視点と理論的な視点の双方からの知識と思考を身につけ、さらに創造的な応用能力を持った人材の育成。

学 部	目 的
経営学部	<p>経営学部の教育目標は以下のように設定されている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営学科では、経営の基本能力を修得し、様々な環境で即戦力として活躍できる適応力とともに、部下管理と組織運営能力をもった人材の育成を目標としている。このような目標の下で、組織論、会計学、人事・労働問題等の領域を軸とした教育が展開される。 2. 経営戦略学科では、グローバルな視点から各種の事業分野でビジネスの創業と再開発を自らリードする戦略発想と用具を兼ね備えた人材の育成を目標としている。このような目標の下で、戦略論、経済・経営史、国際経営等の領域を軸とした教育が展開される。 3. 市場経営学科では、経済成長を支える基幹市場・新市場ごとに、その顧客ニーズを研究、商品を開発企画し、営業・組織の仕組みを構想・運営できる、個別市場のスペシャリストの育成を目標としている。このような目標の下で、マーケティング論、ファイナンス等の領域を軸とした教育が展開される。 4. 全学科に共通して、幅広い分野の中から自分なりの問題を見つけ、そうした課題に対して自分の持っている知識を活用しながら独創性と確実性を備えたアプローチを行い、国際的な視点から見ても十分に説得力のある考察を構築することができる人材の育成を目指している。
国際文化学部	<p>理念・目的に沿って、異文化理解や多文化共生に関心と情熱をもち、語学力や情報の受信・分析・発信力によって主体的に問題解決に当たれる、積極性・能動性に富んだ人材を養成すべく努めている。とりわけ、本学部の英語名、Intercultural communicationが示すように、異文化間の諸問題に対話の通路を作り、新しい相互理解や可能性を生みだせる能力を重視している。その意味で、全学生に義務づけている「SA留学」が、語学力や異文化への共感だけでなく、自立性・自律性・協調性など国際的な社会人として生きていくうえで大切な資質を培わせる場となるよう努めている。</p>
人間環境学部	<p>人間環境学部の教育は、「理念・目的」に基づき、人間と環境の調和・共存をめざし、持続可能な社会の構築に貢献するため、以下を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学際的な教育プログラムを通して、現代社会の多様な現場で生起している、「環境」にかかわる広義の諸課題の改善・解決にむけた「環境政策」を、政府・自治体・企業・市民活動・NPO・NGOなど国内外の様々な活動主体に即して構想しうる能力をもつ人材を育成すること。 2. 理論的な学習と、現場実習など社会との交流による実感的・体験的学習とのバランスのよい積み重ねを通して、環境問題の解決に必要な、分野や国内外の垣根をこえた「協働」の人の輪づくりに有効なプレゼンテーション・コミュニケーション能力をもつ人材を育成すること。 3. 人間環境学の習得を通じて、サイエンス、文化、ライフスタイル等のあり方について、持続可能性の観点から見直し、人間の営み全てが「環境」と関わることや、持続可能な人間のあり方の重要性を新たに発信・啓発する能力もつ人材を育成すること。
現代福祉学部	<p>ウェルビーイングの実現という学部の教育理念に基づき、福祉コミュニティ学科、臨床心理学科のいずれにおいても、幅広い福祉の視野をもって社会に貢献できる福祉マインドを身につけた人材養成を行う。その上で、各学科の教育目標は下記のとおりである。</p> <p>福祉コミュニティ学科では、人びとの心の問題も視野に入れた豊かな福祉コミュニティの創造に貢献できる専門的人材を養成する。地域社会の福祉リーダーとして、地域社会で起きている問題に主体的に取り組む人材を社会に供給する。</p> <p>臨床心理学科では、地域の暮らしや制度、人びとの生活や福祉サービスを視野に入れつつ、こころの問題にかかわる専門的人材を養成する。個人・家族・コミュニティにかかわる心理学を体系的に学んだ臨床心理のスペシャリストを社会に供給する。</p>

学 部	目 的
情報科学部	<p>これからの情報技術の専門家に必要な、本質を見極める探求心（現状を把握し理解・分析する力）と、新しい方法論を確立する能力（問題点や改善点を発見し解決する力）、国際社会で活躍できる英語能力、さらには、現代版の「読み書き」の基本であるコンピュータプログラミング能力と、自分の考えを誤解なく相手に伝える話す力・書く力（コミュニケーション力）とを有する人材を育成する。</p>
キャリアデザイン学部	<p>キャリアデザイン学部が養成することをめざす人材像は、「理念・目的」に記したとおり、①自己の学び方、働き方、生き方を自らデザインすることのできる自律的人材、および、②他者の学び方、働き方、生き方のデザインや再デザインに関与しつつ、その支援を幅広く行うことのできる専門的人材である。</p> <p>キャリアデザインは多様な領域・場で行われる営みであり、グローバルな広がりも有している。それを対象として研究するためのアプローチも幅広く存在する。本学部の教育目標は、こうしたキャリアデザインについて、学生が「広く浅く」学ぶことにはない。入門期には、幅広く基本的事項を学習することが必要であるが、その後は学生一人ひとりが自らの「専門性」を創っていくことが求められる。先にも記した①教育学、②経営学、③文化・コミュニティ論、およびそれらの複合領域を基盤としつつ、それぞれのアプローチ視点からの、国際的な視野も有したキャリアデザイン理解を深めることが求められる。本学部の教育目標は、こうした意味で、キャリアデザインについて、各自が持つ専門的な視点からの理解と考察を深めることのできる人材の育成である。</p>
デザイン工学部	<p>デザイン工学部は、横断的な知識の融合により、多面的な観点から物事を検討し、公正な価値観を持った、創造性豊かな人材の育成を教育目標に掲げている。学部には、建築学科、都市環境デザイン工学科、システムデザイン学科が置かれ、いずれも従来の工学系部におけるそれらよりも、より人間的側面を重視しながら、新しいモノやコトやシステムを創造する「総合デザイン」という共通した統合理念のもとに構成されている。このデザイン工学部の教育目標や理念・目的と呼応する形で、各学科では以下のような教育目標を掲げる。</p> <p>建築学科では、いわゆる「アーキテクトマインド」をいかに理解し、その素養を実現するかに重点を置き、次の7項目、すなわち、①総合デザイン力、②文化性、③倫理観、④建築の公理、⑤芸術性、⑥教養力、⑦表現力のそれぞれを視野に入れながら、知識と感性の総体によって創出される真の建築学を身につけた人材の育成を教育目標としている。</p> <p>都市環境デザイン工学科では、都市や国土の成り立ちを理解し、必要とされる社会基盤（構造物などを含む）を設計・建設・整備する手法を修得し、われわれの生活を守るための防災技術ならびに自然生態系等との調和を図りながら環境を保全・再生する知恵をもつ人材を育成することを教育目標としている。教育プログラムでは、具体的な9つの学習・教育目標、すなわち、①歴史文化の尊重と自然との共生、②技術者倫理、③工学基礎学力、④専門基礎学力、⑤専門知識の活用・応用能力、⑥総合デザイン能力、⑦コミュニケーション能力、⑧継続的学習能力、⑨業務遂行能力を設定し、シラバスにおいて各科目がこの目標にどう対応しているか明示している。</p> <p>システムデザイン学科では、様々な事象のさらなる高度な国際化、国際協調また国際競争力が前提となる、ものづくり・ことづくり（人工物設計・開発および同設計・開発にともなうサービス設計・開発）の教育にむけ、より人間的側面を重視し、新しいものづくり・ことづくりを創出するための多義的な人間理解の重要性を理解し、そこに内在する抽象的普遍性を洞察する能力および創造性、提案能力、解決能力等の総合的な開発能力を備えた人材の育成を教育目標としている。教育プログラムでは、具体的な10の学習・教育目標、すなわち、①人間や環境との協調・調和、②技術者倫理、③工学的教養、④専門基礎学力、⑤創造的工学能力、⑥ものづくり実践能力、⑦総合デザイン能力、⑧コミュニケーション能力、⑨継続的学習能力、⑩業務遂行能力を設定している。</p>

学 部	目 的
理工学部	<p>理工学部の理念・目的の中で述べた「高度な「ものづくり」に携わることができる人材、および持続可能な社会の発展に貢献できる創造性豊かで幅広い教養と国際性を身につけた自律性のある技術者・研究者を育成する」という教育目的を達成するため下記の教育目標を掲げる。すなわち、1. 専門分野における十分な問題発見・解決能力を身につけさせるとともに新分野の創造を担うことも視野に入れ、時代をリードする先端技術及びその基礎を体系的に習得させる。2. 境界領域分野の修得や学生基点 (Learner Centered) の立場に立った学びの多様化に対応すべく学部横断的な教育を実践する。3. 社会のグローバル化に対応すべく語学教育の充実、教養教育の充実さらに異文化理解等広い意味で学生の国際性を涵養し地球規模で活躍できる社会性豊かな人材を育成する。</p>
生命科学部	<p>生命科学部の理念・目的に示したように、生命・環境・物質（資源、エネルギー）・食糧問題などの諸問題解決のための学際的学問を学び、柔軟で総合的視点を備えた実践的技術者、研究者の育成を目標とする。これらの学部教育基本目標に沿った各学科で実践される教育目標はつぎの通りである。</p> <p>生命機能学科では学科理念に基づき、（1）生命科学を分子から生命システムへ理論構築し、実験的に検証することのできる人材、（2）科学英語に精通し、豊かなコミュニケーション能力を備え、国際社会において活躍できる人材、（3）幅広い科学の素養と論理的思考力を備えた人材、を育成する。</p> <p>環境応用化学科では、グリーンケミストリの概念を理解し、21世紀型の先端化学を基礎としてさまざまな産業界で活躍できる高度な化学技術者・研究者を養成することを目標とする。未知の問題を解決する上で必要とされる基礎学力および専門知識を着実に身につけ、国際性を身に付けた自立性のある研究者、技術者の育成のための教育システムの構築を目的とする。</p> <p>応用植物科学科では、植物病の診断・治療・予防の卓越した基礎技術を有し、先端技術の開発・活用事業に参画できる技術者・研究者や、自然と共生の中で持続的発展を目指す循環型社会の実現を地球規模で推進し、人類・社会に貢献できる国際的な人材を養成する。</p>
グローバル教養学部	<p>メディアと交通技術の発達が目覚ましい現代社会においては、資料の収集や分析、成果の発信に地球共通の言語媒体 — 英語を用いることが研究の前提となる。このためGISは、講義やゼミを原則すべて英語で行う、英語イマージョン教育を採用している。英語イマージョン教育のもうひとつの目標は、英語そのものに内在する批評的・抽象的思考能力の習得である。具体的な諸現象の中から主体的に問題点を見出し、それに関する多様な世界基準の議論の理解を深め、自らの主張を論理性と説得力を持って表現し、問題解決のための建設的な提案を行う能力を養う。本学部は豊かな教養、高い識見と倫理観を持ち、キャリア形成における明確な意識のもとに、高い英語コミュニケーション能力を活用して国際社会の第一線で活躍できる、意欲的な人材の育成を目標とする。</p>
スポーツ健康学部	<p>スポーツ健康学部は、既存の枠を超えたウェルビーイングの教育研究を発展させることを社会的使命とし、わが国のスポーツ振興と個人の健康づくりに貢献できる人材を養成する。そのために、健康科学、スポーツマネジメント、スポーツコーチングに関する知識を独立して学ぶだけでなく、これらを相互に関連づけ、幅広い知識を組みあわせることが可能な教育プログラムを展開する。さらに、単なる知識の集積に留まらず、体験学習を重視した実技・実習科目によって、最新の健康科学理論と整合させながら、実社会で十分に活躍できる、実践力を身につけた人材を養成する。</p>